

**区民と区長の対話集会**  
**「さとことブレスト」(第2回)**

**令和4年11月7日(月)**

**杉並区都市整備部 都市計画道路担当**

## ◆第2回 さとことブレスト

開催場所：令和4年11月7日（月） 午後4時～午後6時30分  
場所：西荻地域区民センター（勤労福祉会館）第一、第二集会室  
参加対象者：補助132号線関係権利者 西荻窪駅周辺町会長、商店会長  
参加者人数：17名（応募者：25名）

## ◆事前企画 補助132号線（北銀座通り）を実際に歩こう！

さとことブレスト前に、みんなで実際の道路を歩いて、事前に話題を共有することで、ブレストの時間を充実させる目的で実施。

JR西荻窪駅北口から会場である西荻地区区民センターまで歩きました。

参加者人数：4名

## ◆ブレインストーミング

1班5人ずつA班からD班の4班に分かれて、前半と後半の二段階に分けてブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を前半後半1回ずつ回りながらブレストに参加。

○前半は、次の3点の内容を中心にブレスト

- ①まちづくりの関心事はどこにあるか
- ②道路について、どうあると良いか
- ③今後のまちづくりや道路整備の進め方

○アイスブレイク

日本や海外で最近行われている人中心のまちづくり・道路づくりの事例紹介。

- ・まちづくり・道づくりの最近の動向
- ・関連法規・制度
- ・全国の事例

○後半は、西荻窪のまちづくりと関連付けた道に関する、自由な考え・アイデアについてブレスト。

○ブレスト終了後、班ごとに発表。

○全体での意見交換

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

## 各班の発表内容

### ■ A班

- ・いったん、計画を中止してほしい。
- ・変更、停止をする覚悟がほしい。
- ・時代が変わったので、計画を見直してほしい。
- ・すでに認可がおりているのに、売れない、リフォームができないので困っている。
- ・立ち退きの場合、残地は自分たちで何とかしてくださいということと、残地が更地になると税金が高くなるのが困る。全部用地を買ってほしい。
- ・当該のエリアでは、地震マップでは安全なほうにあたるのに、わざわざ拡張する必要はあるのか。

### ■ B班

- ・道路を拡張する合理性がない。
- ・行政の住民への説明の仕方への不満。
- ・まちづくりに関する意思決定のあり方への不満。
- ・主語が住民か行政か。
- ・歩道をバリアフリーにした方がよい。
- ・道路が狭いのではなくバスが大きすぎるのでは。
- ・補償が市場価格の6割でしか買わないという点。
- ・マイカー規制の案。
- ・歩行者自転車が優先されるには道路拡幅しなくてもできるのでは。
- ・電線地中化も拡幅せずにできるのでは。
- ・用地交渉は個別ではなくオープンに。団体交渉を認めても良いのでは、地権者の賛同があればオープンにしてよいのでは。

### ■ C班

- ・道路拡張となるとほとんどのテナントがなくなってしまうので、テナントに対してのオーナーさんの心遣いを考慮した補償にしてほしい。例えば、道路拡幅で減った分、家賃を下げても貸していただけるようなシステム等があれば、助かるお店が出てきたり、店舗が減らないで済むのではないかと思う。
- ・テナントや個人商店が多く、一人や少人数で営んでいるため、このような会に参加することが難しい方がいる。行政の方でしっかり説明を行い、対応することができれば、いろんな将来が見えてくるのではないかと思う。

### ■ D班

- ・道路拡張の在り方、土地を譲った時の補償の在り方について話した。

- ・まちづくりに関しては、売却されている土地を、老若男女が対話できる集会所のような場所を区が力を入れて提供する。障がい者がお店を作るための助成を区がするなどして、道路のためではなく町のために使うことで今よりもよい杉並をアピールできる。
- ・道路拡張は、古い思想のもとに進められてきたが将来を見据えて見直すようにしてほしい。防災の問題は、環八が延焼遮断帯になっているのに、財政が苦しい今、132号線を急いで延焼遮断帯にする意味があるのか。
- ・防災の問題、子育ての問題、高齢者支援の問題すべて杉並区の課題は地域の力を強めることによって解決するのではないか。
- ・区長には新しい思想で杉並区の地域の力を強めることに力を発揮してほしい。
- ・反対、賛成者がいて、手放す人はいてもいい。それを区で買って欲しい。既に認可が下りている土地で何かをするのは難しいが、住民が作るまちづくり、エリアマネジメントを目指して声を上げていけば可能だということなので、頑張っていきたいと思う。道路のことで皆が分断することがないように、よい杉並をつくりたい。

## ■その他、全体を通しての意見等

- ・今日の意見が集約されて、万が一、道路拡張はすべきでないとなったときに、その選択はありえるのか。区からの委託業者が来て、相続のことが関係し、いろいろな連絡が来る。
- ・住民参加を前向きに進めるそうだが、今回は抽選に当たり参加することができた。次から自分はどのように参加できるのか。住民参加の全体像がみえない。
- ・当該道路の拡張は、もう決定しているということなのか。
- ・優先路線を外すことはできないのか。
- ・グループでまとめて意見をいった時に、Aグループは「いったん、計画を中断してほしい」、「見直すことはできないのか」という意見を言った。そのときに、なぜ道路の拡張が決定していることを言ってくれなかったのか。言っていれば、次のグループが発表する時に、意見が変わったと思う。
- ・何のために今日は区長と話し合ったのか。
- ・話し合いの前に言うべきだった。決定ありきで問題定義すべきだった。今頃言って、問題発言だ。
- ・今まで話し合ってきたことが無駄になってしまう。
- ・このような場は行政が主催すると無茶な時間になる。かつ色々な方が参加した方がよい。
- ・住民に対し、私設のまちづくりに関するミーティングをあちこちでやってもらうよう促し、そこを行政担当者が横断する仕組みを考えてほしい。そうすると昼夜問わず色々なジャンルで参加できるのでは。
- ・知っている限り立ち退きたくない方が多いと認識している。そのことに対し行政も、認可が下りてしまっていてまずいとのことなら、事業を遅らすなど努力はできるのではないか。
- ・是非、この区のプロジェクトに西荻に住んでいる職員をアサインしていただきたい。西荻は阿佐ヶ谷とも違うし荻窪とも違う。住んでいる人が違うし街の個性も違うので、西荻のまちはどういう街なのか、西荻を熟知している人が参加することによって、道路拡張の話も含めて、

こういう場でも想像と意見がスムーズに出て、建設的な会になると思う。課の中に、西荻に住んでいる人や西荻出身の方がいらっしやらなかったら、オブザーバーの形でも構わないから、他の課からそういう方を参加させていただけると、我々も意見を言いやすくなるし、よりいい方向に進むのではないかと思う。

- ・エリアマネジメントの話が出たが、道路拡幅で認可が下りている土地を道路にしないで、ポケットパーク、建物を建てるようにすることは住民に任せてもらえるのだろうか。最終的に道路になるまでの間ということになると、それは納得できない。優先道路を見直されることを目指すということになってくる。優先を外されるのには条件があるのか。優先路線を外すということに住民の意見が入ってこないのはなぜか。ずっと対話をしている。

- ・認可を下したところでも取り消せるということを杉並区からやっていきたい。道路計画で70軒以上の店がつぶれて家族が生活に困窮するようなことがまちづくりの最初に起こってはいけない。

- ・用地買収された人は市場価格より安く区に提供しなければいけないのか。

- ・反対していた人ががっかりして帰らないように、二区は認可を下させないこと、一区はハンコを押さないこと、それを貫き通して、こういう会には出席して、道路を広げない形でのまちづくりを進めていって、優先道路を外す。世田谷区では、下北沢駅前の一区は認可が下りて再開発したが住民の意見も入っている。二区、三区は長い間の闘争の末、優先を外している。見習って私たちもやっていきたい。その間に誰かがいい案を出してくれるかもしれない。西荻らしい町を作れるような、いい案を思いついたらこういう会で訴えていきましょう。出ていかないぞ、動かないぞ、と思っている。

## 岸本区長の発言内容（プレストを終えて）

- ・お集まりの皆様へのお礼。
- ・印象的だったのは、西荻のまちはもうできている、というお話。いま、まちがあって、そこにたくさんの人が関わっていて、愛している。とても個性がある西荻の町を自分たちは作ってきたし、あるんだ、というお話。
- ・西荻北銀座商友会のアンケートを見ると、2020年と2030年を比べたときに道路が拡張したことを前提にしてだと思うが59店舗が29店舗と半分になってしまう。店舗の減少を西荻の人たちは望んでいるのか、いま考える必要がある。
- ・ウォークアブルシティの話題では、前は西荻のまちは良い、という話題が前半にあり、ウォークアブルな話が出てきて、歩行者や自転車中心のまちってあり得るんだ、という流れになっていた。今回はクリティカルな話題も出ていて、ウォークアブルの事例は、道が広がることを前提としているから、事例で出た地区と西荻は違うという意見が出ていて、興味深かった。
- ・今回、一番多く聞かれたのは、道路づくりは「何のため」なのか、ということ。賛成の方も反対の方も、土地を持っている方も、区に土地を売りたいと思っている方も「何のために」というところで納得できないという意見。まちの道路を作ることの何が合理的なのか、ということも各テーブルで出ていた。
- ・既に用地取得が終わったところでも、それ以外の可能性があるという点も出ていた。エリアマネジメントなど新しい手法の紹介があった。
- ・杉並区まちづくり基本方針の骨子案について550もの多様な意見をいただいている。これは杉並区の宝だと思っている。今回や前回のプレスト、そしてこれから続くプレスト、550もの意見、いろいろなものと融合して、そこからスタートさせていきたい。
- ・周知の問題やこのような会に参加できない方など課題もたくさんあるが、多様な土壌を作り、継続していきたいと思っている。これからも皆さんと一緒にやっていきたい。

## (ブレインストーミングで出たご意見)

- ・嫁いで 25 年、自分は西荻のまちづくりに参加していると思う。小学校や商店会、駅前の店もまちづくりに参加し、まちができていていると思っている。
- ・道路拡張工事が本当になされるのか、なされないのか。拡張工事は防災を考えた上で行うことだと思うが、それ以前に何年も築き上げてきた西荻のまちづくりがある。
- ・西荻の保存会の人達が、このような会に来てもらわないと困る。
- ・まちづくりは駅から 500m の人達しか参加できず、自分は参加できなかった。おかしい。まちづくりは道路に関係してくる。どうして地権者は呼ばれないのか不思議。
- ・道路の計画が出たのはかなり前、今と社会情勢が違う。今まで、まちづくりと道路が広がるかの議論をしてこなかった。区長が変わりまちづくりの問題提起がでたが、話の流れを最初から説明してもらわないと成り立たない。
- ・駅前開発や再開発の話は耳に入ってきていない。親の時代のことなので。
- ・道路拡張の話を知ったのは 4 年前。それ以前の説明会で駅前開発の話はなかった。駅のディベロッパーに関して道路をつくるということがわかってきた。やり方が無茶苦茶。
- ・まちづくりをしたいのか、道路を広げたいのか。今のままでどうにか開発できないのか、今回は模索の機会だと思っている。
- ・まちづくりは限られた人だけではなく、区全体の問題として意見を出し合って、みんなで作らないと。民主主義ではない。
- ・ディベロッパーの人達にもこの会に来てもらわないと。
- ・前区長はまちづくりの観点では訴えてきてなかった。今の区長はみんなの意見を聴こうとこうなったけれども。じゃあ今までの 50 年、60 年は何だったのか。親の時代は。
- ・西荻のまちの特色はこれからも生かしてほしい。楽しい魅力あるまちにしたいと思う中で、道路拡幅が与える影響が心配。拡幅する目的とまちの雰囲気を守ることができるのか。
- ・道を広げるとまちが分断される。拡幅が良いまちづくりにつながるのかは疑問。
- ・財政が厳しい中で、以前作った計画を粛々とやるのが行政の方針なのかは疑問。
- ・当初、道路拡幅は防災のためだと言われ、区は東京ガスが緊急車両を出すために行うと言っていた。でも東京ガスは言っていなかった。翌年、スーパーができた。やり方がおかしい。

- ・道路拡張工事で自転車レーンができるのであれば、施設内に自転車置き場をつくるべき。
- ・防災のための道路拡張というが、区で出している防災シミュレーションで、西荻はさほど危険ではない色になっている。
- ・南口の神明通り付近を真っすぐではなく曲がるような道路計画がある。より渋滞すると思う。
- ・道路拡張の買収は今までやってこなかったが、国から補助金を使いなさいと言われて区が動いている。行政のお役所仕事だと感じ、区民に親身になっていない。腹立たしい。時代の変化に合わせて、何十年も前の計画を変更する、辞める勇気を区がもっていないことに失望している。
- ・税金を払っている人達が良かったと思えるような行動を区にはしてもらいたい。
- ・道路を広げたらビルができ、そこが防火壁になる。その場合、近くの木造住宅の人達を守れるのか。
- ・昔、道路計画は3区間に分かれていた。今度は2区間。計画の順序が逆。
- ・今だけでも多くの意見が出てきた。今後もっと多くの人の意見を聞くことができるのかを確かめたい。
- ・前区長の時は、オープンハウス（説明会）で意見を言っても、結局、区のやりたいようにやってきた。まちづくりではない。
- ・バスを小型化してはどうか。
- ・車道ではなく、歩道に自転車が通る。区分けが必要。
- ・そもそも先行事例として紹介されたものと西荻は全然違う。
- ・道路が広がったら次の問題として先行事例のような話はあると思うが、それ以前の問題を今は議論している。
- ・先行事例の紹介は、私たちの意識を違うところに持っていくための試みだったのではないかと考えた。
- ・先行事例のエリアとは人口密度も違う。
- ・事例を持ってくるのであれば目線を合わせてほしい。
- ・西荻は東京のベットタウン。人が寝に帰ってくるころだ。
- ・（今回の先行事例の紹介は）考えて物事を発信しているとは思えない。
- ・まちづくりのことを考えるのであれば、西荻のまちはもうちゃんとできていると思う。



・昔からのこぢんまりとしたお店があって、新しい人もどんどん来ていて、土日は若い人もすごく多い。昔とは全然違う。西荻は人気の多い吉祥寺に次いで人気のあるまちだ。その吉祥寺とはまた違ってこぢんまりとした良さがある。そういうのは絶対に残してほしい。

・大きいビルが建って道路が広がったら、お年寄りも多いのに道路なんか渡れない。歩道橋なんてつけたら、お年寄りは歩道橋を使えない。足腰が悪いのに。そういうことも考えた方が良くと思う。

・西荻はすごく住みやすい良いまちだと思う。

・まちづくりと道路を広げるということについて区長がどのようにマッチングさせて考えているのか。

・よくなることは望んでいる。しかし生活が密着していることの切実な痛みというものもあると思うのでそれをまちづくりの構想とどう結び付けていくのか。

・まちづくりの構想と結び付けていくのであれば、ここの住民だけではなく区全体の問題として色んなところから色んな職業・年代の人の意見を聞いて、区民参加のまちづくりというやり方も今の区長であればやれるのではと感じている。

・「整備の順番だから」、「お金が」、「実績を残す必要があるから」ではなく、本当に区民が望んでいるのは何なのかというところを吸い上げるために恐らく当選されたのだと思うので、まちづくりと道路を広げるということをどのように考えているのかというのを区長にはどんどん発信してもらいたい。

・行政は昔決めた計画を変えずに粛々とやっていくことが使命みたいになっている。

・西荻の路地や狭い道で行き帰りできたり、そういう味わいのあるまち。西荻はそこで出来ていると住民は思っているのに、立派なものを作ったり道路を広げることが善、みたいな考えがある。それは新しい区長にぜひ違った発想で行政の今までの常識を打ち破ってほしいと思う。

・杉並区職員からもこの事業に関してどのように進めたらよいか初めてのことでよく分からないというようなことも正直聞くが、やはり住民本位の、住民のための住民によるというようなやり方が今は主流だと思う。昔とは時代が違うので、そこを加味して区長にはぜひ発信していただきたい。

・ちゃんと住民の意見を聞いて整備を行っていくということが全然なされていない。

・道路を計画するという話は70年前から言っていること。十数年前にやっとやり始めるという話があってから4年前に説明会があるまでは何もなかった。やり方がおかしいのではないか。

・うちは土地を半分以上取られる。残地は自分たちでどうにかしろというのがそんな少ない土地をどうすればいいのか。残地の税金は更地になると6倍になる。そんな無茶苦茶な話はない。

・地権者は損ばかり。

・用地買収するなら残地も含め全て買ってほしい。

・既に認可が下りてしまっているところは、いつどういう風になるかわからないので売るにも売れない、修繕、リフォームすることもできない。本当に困っている。

・住民に親身になってほしい。

・当該エリアには防災公園がないので、防災を考えるのであれば、現スーパー（東京ガス跡地）の土地は防災公園や避難所にしたらどうかという意見も過去に出した。

・既に用地買収済みの土地があると思うが、道路を広げずとも、自転車置き場・ポケットパーク・公衆トイレ・ベンチを置いたり等活用方法はあるのではないか。それこそまちづくりになると思う。

・住民の人たちと話し合えばやり方はいろいろあると思う。

・何年かすると職員の人が変わってしまうので、「知らなかった」と言われる。話にならない。

・住民は全然不自由していないと思う。

・もう少し違うところにお金を使ってほしい。

・大火事があったわけでもない。救急車も頻繁に通るが、結構スピードを飛ばしていてスムーズに通過できている。杉並区が出しているシミュレーションマップでも他の高円寺エリア等と比べ危険度は低いエリアにある。

・道路拡幅事業について、やるかやらないかも住民参加で決めてほしい。

・今は話し合いもなしに住民の意見を聞かずにただ一方的にやるというようなこと。

・今回のブレストのような話し合いはこれまでない。質問みたいなことはあったが、かと言って何が変わるわけでもない。計画をやるぞというスタンスは変わらない。

・いったん計画を中断してほしい。全員参加の話し合いができていない。

・税金の無駄遣い。

・困っている人のことを考えてほしい。

・土地は杉並区が購入し、そこからディベロッパーと交渉してなにかやるとか、順序的にそういうようなことにならないのか。

・道を広げたいのであれば無電柱化整備を行えば少しでも違うのではないか。

・今プラタナスの木があるが、もう少し細い木を植える等の方が良い。大きくて邪魔だと思う。葉がすごく落ち掃除が大変。

・植栽はツツジのような低木にすれば見通しも良くなり道路も広く見える。

・行政のやることは杉並区の計画というよりかは東京都の計画。だから東京都がやれよと言ったら杉並区は「はい、左様でございます」。行政のレベルから言うと上からの命令には逆らえない

ところがある。国も推していることになれば、東京都だって「早く進めなよ、何塩漬けにしてたんだよ」となる。

- ・当時計画した人と、それをもう一回やり直せと言っていた人には年齢ギャップがある。

- ・なぜ道をまっすぐ作らないのか。真っ直ぐの方が使い道がある。

- ・道路を広げることによって、何をどうもたらすのか。広がっただけだとお客さん来なくなってしまう。広げた後が重要であって商店街という機能がどうなっていくのかを考えていかなければならない。ただ広げればよいというものではない。

- ・真っ直ぐのほうが道として役に立つ。

- ・道路を広げることの合理性のなさ、意思決定のあり方(プロセス)が気になる。3、4年前に都市伝説のような形だった話が急に具体的に出てきてそのまま突っ走っている。行政がろくに説明しないという不誠実さ。周知も足りない。この計画を知らない人が圧倒的に多い。

- ・都の認可が下りてしまっていて動かしづらいという状況は分かっている。

- ・区長が変わっているにもかかわらず、事前配布されている参考資料のトップに前区長が掲載されているというのは配慮がないのではないか。

- ・まちづくりの主語は行政ではないと思う。そういうのは終わったと思う。

- ・22年住んでいて、道路を広げるの必要性を感じていない。西荻が好きで、駅を降りるとほっとするような空気が好きで西荻を選んだ。

- ・具体的に拡幅計画を聞いたのは4年前。10年以上経ったらまたその話が出てきた。第三次事業化計画の時に説明会があり拡幅に皆反対したら、その話は一旦なくなった。最初に反対した時は山田区長だった。

- ・都市計画道路という名前は聞いたが、どういうものなのかという中身は知らなかった。高さ制限があるという話だけ聞いていた。具体的な中身を聞いた人なんて周りに誰もいなかった。

- ・説明会や展示会はあったが「決定済みで、こうなりますよ」というものだった。いくらそこに意見を出しても全く反映されなかった。アリバイ作りとしか思えない。

- ・今回のような皆で話し合うという機会は初めて。もう決まったことだからではなくて、ゼロベースに戻して、この計画がどうなのかを皆で話し合いたい。

- ・区がもう少し住民に寄り添う方向にしてくれないと。区も東京都と戦わないといけない。区がもう少し住民に寄り添う形でもって住民目線で戦ってほしい。今回のような機会はやっとなと思う。

- ・説明すればごり押しできると思っていて杉並区も東京都にしつぽを振ったようなもの。

・道路拡張にあたり、綺麗な道路ができるなら協力する旨を伝えたところ、杉並区から「通常の補償をしますから安心していてください。」と言われ、提示された補償内容が市場価格とは全く違う内容（市場価格よりも全然低い内容（59%くらい））だった。そして、「建物（ビル）も解体しないとダメ、解体費は出します。」と言われたため、「新たな建物の10か月分の補償（建物の設計から完成するまでの間+3か月間の募集期間）をしてもらいたい」と伝えたが、希望内容の30%弱の内容を提示された。

なぜこんなに話が違うのかと伝えたところ、「これについては補償しない、これについては未定義です。」と言われ、想定していた内容とは全く違う内容であったため質問したら、「規則ですからしょうがないんです。」と言われた。「自分の財産を侵害されている。問題なのでは？」と伝えたところ、強制収用の話をされた。失礼だと思うし、そのようなことは絶対言ってはいけないと思う。認可の下りてないエリアだから気にしてないが、社会通念上の補償をしてほしいだけ。皆の税金を使うわけだから公平な形で買い取ってもらいたい。なぜそこまで地権者をいじめるのか。

・そのような話を聞いたら絶対売りにたくない。

・道幅を広げて交通量をコントロールするならなんとなく分かるが、交通量が増えると事故はつきまとう。歩道と自転車帯を広げることがメインとの言い方をしていたので、結果道幅は一緒なので、何の意味があるのか。

・最初は防災が第一目的と言っていた。だんだんそれも変わってきた。なおさら信用できない。4年前は東京ガスから緊急車両が出やすくなるようにとのことだった。いなくなるのが分かっているのに。その感じも信用できない。

・某テレビ番組で放送されていた時に「荻窪と吉祥寺に挟まれた中央線のガラパゴス」と表現されていてピッタリだと思った。

・防火の点からすると大変な地域。

・昭和レトロな感じ。あれが好きで引っ越してくる人たくさんいる。ある程度そういったものを残せるのか。西荻遺産。

・日本の基本がスクラップアンドビルド。区はまちの活性化には色んな人がいることが大事というが、古い建物はできるだけ残しメンテナンスしてまちの活気を保つということを70年代の建築家はとっくに言っている。なのに大きい道路を作るアイデアしか提示されておらず古く感じ、そのことは西荻の中で共有されている。

・高層ビルは建たないのが良い。

・地形を考えて物事を作り上げていったことなのかどうか。起伏のある道路上に、外観など含めて何を設置すればうまく行くか。芝生だと雨の場合川の方へ流れていく。

環状6号線の東中野の駅から落合の高い方まで行くと幅はかなり広く、それくらいの広さがあるなら色々できるだろうが、商店としてはうま味がない。商店は狭いところにたくさんあるから良い。中野のブロードウェイも北側はごちゃごちゃ。だが、商店街はそういうのが良い。西荻南側

はチェーン店が増えたからアーケード街がなくなっている。彼らはアーケードなどいらない。そこは外国に籍があるような地上げ屋が転売する気満々で買ってしまった。

- ・某ディベロッパーが南側の再開発を進めていたらしいがその話はなくなった。そのようなディベロッパーがすぐ入ってくる。

- ・南口の再開発をするには今の道幅では狭いから広げたいのだと思う。井の頭通りまで繋がるなら防災名目も分かるが。

- ・事業認可が下りていない箇所についても用地交渉は行っていたのか。

- ・用地交渉は個々でやるのではなく、オープンでやるのはどうか。

- ・道路の前を植木にするため後ろに下げると言われたので、陽が当たらなくなるのでそちらの木を裏にするよう伝えたが、区の決まりで緑地をそのように作ると言ってしまったからと伝えられた。「そのようなことを住民に伝えしないで作ってどうするんだ」と言ったところ、2m道路側に移ってくれた。でも電波障害がありテレビが映らないので共同アンテナを買ってもらった。

- ・用地交渉は個々でやるから秘密裏に終わっているようで、もう完全にオープンにした方がよいのでは？録音と録画した方がよい。

- ・強制収用は今までないらしい。

- ・バスはそんなに需要と供給があっていないので、小さくするのが良いと思う。道が狭いのではなくてバスが大きすぎる。大量輸送していた頃のバスがまだ動いている。

- ・マイクロバスで充分。そうすれば土地を広くすれはうまくいく。南口は広くしないといけないかもしれないが。北口のバス停はバスを小さくすればやっていけると思う。

- ・青梅街道から駅の方は、土日はマイカー規制する案はどうか。

- ・自転車は免許制度にしてほしい。モラルのない自転車の人が多すぎる。歩道も逆走している。曲がり角で一時停止しない人も多い。

- ・搬入の車だけ道路を通れるなども良い。

- ・道路の規制だと警察が絡んでくる。

- ・延焼を防ぐための道幅は最低12m必要とのことで、今11mで、たった1mのためにこれから5~6m広げるといふ口実も見苦しい。

- ・延焼は商店街なら隣に飛び火する。道路の反対側に行かないだけ。

- ・防災の点だと、ハードよりもまともな人間関係が大事。普通のコミュニケーションが取れるようなまちづくりが大事。

- ・もっと小さいコミュニティで防災訓練できれば。たまにやっても忘れる。

- ・歩道を作るとき、バリアフリーにしてほしい。デコボコが減るように。

- ・まちづくりの関心事は時間である。だらだら引き延ばしてやるのではなくて、時間を重視してやってほしい。

・道路の拡張は確かに必要だけれども、話を聞いたところによると、道路を拡げるのではなくて歩道を拡げるという話を聞いている。そこをはっきりしないで道を拡げるといっても我々商人はどうすることもできない。

- ・隅切りの影響で 18 坪から 15 坪しかなくなってしまふ。
- ・年齢を考えるとやる、やらないという結論を出してほしい。
- ・歩道を拡げるのか車道を拡げるのかが不明確である。あいまいにしないでほしい。

・商店で買い物をすることを重視している。個人商店が商売できないような開発は困る。個人商店が商売できるような開発を進めてほしい。

- ・実際に個人商店で困っている方がいる。
- ・何のために拡幅するのがわからない。必要だと思わない。
- ・不便だと思ったことはない。
- ・お店が極端に狭くなると廃業しなければいけない。
- ・西荻で買い物する方の意見を聞いた方がよい。
- ・商店街の魅力をもち続けた開発にしてほしい。

・皆さんの話を聞いていると反対という声もあるし、もうセットバックしているから早く補償を受けて引退したいという声もある。

・商店街の会長を代表してアンケート調査を行った。1 年前の意見と今年の意見は内容が変わっていることがわかる。容認するという意見が増えてきている。

・現在商店は 61 店舗ある。実際に拡幅した場合、予測では 25 店舗に減ってしまう。商店街として維持が難しくなる。

- ・商店街を守っていききたいという気持ちがある。
- ・魅力的な商店街がなくなってしまう。買い物ができなくなってしまう。生活している人間からすると困る。不便になる。寂しい。
- ・ライフが出来るので何店か出店できないか打診したが断られた。

・道路は現状維持で問題ない。

・1 年前は説明が不十分という意見がたくさんあったが、今年の意見としては次の段階に移行している傾向がみられて、ベンチを設置してほしい。もちろん拡幅しないでほしいという意見もあるが、少し考え方が変わりつつある。

・西荻で商売したいという方がいて空き店舗を探している。現状、問題があるので安易に勧められない。方針を固めてもらえれば、そういう方々にアドバイス等もできる。

- ・時代の違いと変化をみると、自転車の比重が上がってきている。
- ・自転車が歩道を走らないことを理想として、自転車レーンを設けて出来る限りレーンを走るようにしてもらいたい。

・ベビーカーも増えてきている。気楽に西荻にベビーカーや子供と一緒にぶらりと行きやすくしてほしい。歩道を拡げてほしい。

・緑豊かなまちづくりを重視しているが、手入れが非常に悪い等の緑豊かに付随する問題点がある。環境整備隊みたいなものを設立して、環境管理・整備していくのはどうかと提案したことがある。

・商店街を美しく豊かにするにはゴミの問題がある。しっかりゴミの管理ができるように杉並区が協力しなければいけない。

- ・商店街の方が活動しやすい。ぶらりと行きやすいまちづくりを目指してほしい。
- ・現状、商店街の方が活動しやすく、ぶらりと行きやすい街になっていると思うので、現状維持で良いのではないかな。
- ・商店街を残すことを前提に道路整備やまちづくりを行ってほしい。
- ・商店街あってこそその街だと思う。生活しにくくなっては困る。

- ・自転車とのすれ違いが怖いので、整備をするならそういう点も含めて考えてほしい。
- ・区有地を有効に活用してほしい。
- ・みんながルールとマナーを守れるように誘導できればよい。
- ・バスのことを考えると道路を拡幅した方が良いのではないかな。
- ・駐輪場をもっと増やした方が良いのではないかな。
- ・空いたスペースにベンチや休憩場所・駐輪場などを作るなど有効活用すれば良いのではないかな。
- ・井草八幡に抜ける裏道とセットで見直しをした方が良いのではないかな。
- ・一方通行にすれば良いという意見もあるが、一方で上り下りどちらを優先するかという問題もある。

- ・西荻の駅前が開発が遅れている。
- ・西荻の駅前バスとタクシーが苦勞している。
- ・西荻の駅前が暗いイメージがある。
- ・西荻の飲み屋通りは魅力の一つである。
- ・中途半端に開発するのは良くない。

・建替えとなると、商店や飲食店ではない建物が建つことが想定される。そうすると西荻の魅力は半減される。

・オーナーが建替時にテナントを入れたいと思える補償にするべきではないかな。そうすれば西荻の魅力は維持されるのではないかな。

- ・このままただの通行するための道路になってしまう。
- ・商店や飲食店にどれだけの人が来ているのかを区は把握していない。

・私は賛成でも反対でもない。自宅が道路拡張の区域に丁度角地に入っている。杉並区やみなさまが、まちづくりや道路拡張に関してどれくらいに関心があるか知りたい。みなさまの意見を聞いて、自分は大まかにしか考えていないので、この会がどういうものかということをもまず知りたい。

・自分の土地を提供するには、それなりの区からの説明がきちんとされてきた中でしたい。仮に進められる場合残った自分の土地を区の説明の言い分だけではなく、残された少ない土地の説明、補償をきちんと説明してもらいたい。納得した上で土地を区民のために納めたい、私も区民であるから大切にしたい。

・いろいろ曖昧だから納得がいかない。

・ビジョンがないのに土地だけくれと言われてもおかしな話。

・商売をやっている、ここでずっと仕事をしていきたいと思っている。

・この4年間、ずっと法的根拠がない。計画が決まったときに、意見がなにも求められなかった。了承もなく勝手に決まっている。それがまず納得できない。憲法第29条の財産権はどこにいったのか。

・必要性があるのか。道路が広げられていくのは、本当は再開発が目的で、高いビルを建てたいからというのは分かっている。駅前からだったのに、こちらから開発となったのは、私たちが大人しそうに見えたから。そうは問屋が卸さない。

・残地に3階の一戸建てが4軒並ぶ建築計画がある。事業が決まっているのに、不動産屋がミニ開発をしている。

・西荻町の特性を大事にしたいから、広げない形で、どうまちを作っていったらいいか。緑地を増やしたり自転車置き場を増やしたり私たちの財産になるわけだから、空き地は区が全部買い取ってほしかったが、4軒家が建つとあったから腹が立っている。いい場所だから、児童館など区のコミュニティにすることができるのにできなかった。これから出る空き地の残地についてはぜひ区で買い取ってほしい。

・私たちは広げたくないし、立ち退かない。この道路の人たちでも立ち退くことを前提に家を建てている人とか、地権者で遠くに住んでいるが売りたいと思っている人もいる。その人は売ったらいいと思う。それはやっぱり区が買うべき。愛知県が実際にやっていたことで、昭和22年くらいの長い間の復興計画で、いきなり道路を広げるよと言われた計画がたくさんあったが、もう広げる必要はないと考えたときに、愛知県では市で空き地を買うことになった。生活設計を犯すような無責任なことではできないから買った。市の財産になれば市民の財産になる。

・区議会も含めて説得しなければならない。何を建てたらいいか市民の意見を求めて建てているものもあるので、そういう風になってくれることを望む。そうすれば、空き地が出ると、ここは緑地だ、ここはベンチだと考えられて楽しい。



・生きていく上でここがなくてはならないものだったが、都市計画道路で、全部買うわけでもなく、解体費用は出してくれるけど代替地を紹介してくれるわけでもなく、夢を捨てなければならなくなった。憲法にも保障されている財産権を失うわけだから、納得できる説明をしてほしい。公共性がある、自分が納得できるのなら、辛いけど受け入れるから説得してほしい。

・国交省は都市計画見直しの指針を出しているが、旧杉並区長は、道路拡張は国家百年の計だと言っていて、古い思想だ。見解の相違なので、討論するつもりはない。新しい岸本区長は古い思想を改めてほしいという兆しを感じられてうれしい。

・西荻の駅を降りるとホッとする。のっぺらぼうで均一の空間ではなく異空間がある町というのが新鮮に感じる。気持ちがホッとして解放される、そういう町を残したい。

・ビジョンのないまま道路計画があるということに疑問を持っている。

・今の風景を保って行かないと、町全体が崩れる。道路が広がってきれいになるということではなくて、神明通りくらいまでの70軒がみんな壊されていく。

・火災発生地域は東側なのに、延焼遮断帯にする緊急性、必要性はあるのか。

・電柱は地震の場合は建物が倒れることによって倒れるので電柱自体が倒れることはほとんどない。

・きちんとした情報をオープンにして皆が納得できるようなものとして出して欲しい。

・自宅マンションの耐震工事をするにあたってちょうど道路計画が開始し、敷地内にアポイントなく区の方が勝手に測量に入られた。

・小さなお店がたくさんあるからこそ魅力があり雰囲気が保たれている。まちづくりはそういうことが大事。

・道路を広くすれば、消防車の通行や自転車の通りやすさなど便利さはあるが、そのためにお店を潰し住んでいる人を立ち退かせて、これがまちづくりなのだろうか。町を壊していないか。

・保育園も入れず、学童も民間。子育てにおいて区に何も助けてもらってない。子どもたちが成長するにあたって、親になっても住みたい町になってほしい。

・中高生になっても気軽に集まって勉強したりお話ししたりできるような施設が区であるといい。渋谷にはいくつかある。杉並は荻窪にしかない。子どもがあまり大事にされていないような印象がある。まちづくりとは人に大事にするところから始まるのではないか。

・もともと杉並はひとつの小学校にひとつの児童館があるモデル地区だった。前の区長の間に施設がどんどんなくなった。就学前の子どもの親も困っている。

・区がどうよりよい町を作っていくかということを知りたい。仮に土地を提供するなら、残った土地のことも考えないと、ここは杉並区で他は関係ないということではなく、賛成の方の話もきちんと聞いていただきたい。

・角地なのに三角で隅切りされて、あっても損な土地が残る。杉並区のために提供するのなら、

自分も杉並区民だから、残ったところもきちんと考えてほしい。

・杭で囲まれた土地が増えているが、とても寂しくて景観も損ない、気持ちもギスギスしてくる。不動産屋に言われず、知らずに入ってきた人たちに、これからどうなるのか目途が経ったら伝えてほしい。空き地になったところを、景観がよく、住民の心が安らぐ場所にできないか。

・拡張の上ではなく拡張しない段階で、空き地を緑地、ポケットパーク、シェアサイクル等何かに活用したい。

・老人の一人暮らしができる町。2時間ごとに見回りが必要なので、空き地を利用して小さな見回り所をいくつもつくる。一日中、住む人がいて訪問するお宅を決める、そうすれば一人暮らしができる。

・子どもが助けを求め、子どもが頼りにできる見回りの小さな施設。児童館の小型版を町にいくつか作る。

・高齢者と子ども、その中間の大人が交流できるバリアフリー施設というか、カフェやベンチ、テラスなど人と触れ合う場所を区が作る。お店側がやるのは限界がある。両国の喫茶ランドリーはうまくいっている。杉並のゆうゆう館にも昔あって、触れ合っていたと聞くが、もっとフレンドリーな空間。

・児童館の民営化で、お金を入れて預けている子どもと、遊びに来た子どもの区別のために管理が厳しく、自由な感じがない。職員が交代されて子どもの顔を覚えている暇がない。アウトソーシングのデメリットだ。良質で公的な支援が入るものが、空いた土地を利用するという手もある。

・地域で高齢者と子どもが交流も持てる町、子どもが昔のことを聞いてさらに西荻の文化を伝えていくことができる施設を杉並区で考えて欲しい。昔は近所の人からいろいろ教えてもらうことがあったが、今は個人的な保護などがあるから、安心して遊べる施設を区の経営でやっていった方がいい。

・管理が厳しくなって、遊ぶ場所も少なくなった。道路に関しても、ちょっと何かしようとする直ぐルール違反になる。

・きれいにしなくてもいいと思う。ダイケアサービスの端っこに子どもが遊べるスペースを作る。そういう場所をわざわざ作らないと、お互いにどんどん孤立していく。

・民間だと一部の施設しかないし、力がないから、個人同士が繋がれる場所を区でバックアップする。

・核家族にとって、高齢者とのふれあいは大事な経験。一人暮らしの方とコミュニケーションが気軽にできる場所を区が作れば町はもっと活性化するし、犯罪の少ない町となり、発展していくと思う。高齢者にも生きがいができる。杉並区が一番にやってモデル地区になればいい。暮らしたい人が増える。杉並区から変えましょう。

・人とのコミュニケーションは子育てだけの観点だけでなく、防災にも直結する。初期消火は地域の力。商店街で防災訓練をすればという提案をしているが、なかなか進まない。消防団はあるが、もっと個人レベルでやる。幸福の科学の方は熱心だ。私たちもできると思う。

・まちづくりや道路の問題をきっかけに地域の話し合える場を公共の中で作っていったらいい。  
・公共では難しいのではないか。区長が変わったから大丈夫だろうか。  
・まちづくりは住んでいる人の声がないと何もできない。役人が考えたもので進んでいってしまう。皆が協力できたらいい。どうやっていくか。どう作るか。  
・世代や環境で視点が違うので、いろんな方が集まって意見を言える場があればいいと思う。西荻にはそういう力があると思う。

・反対意見が次につながる活動になっているか。行政に届いて意見交換ができているのだろうか疑問。  
・西荻全体の、商店街を超えたお祭りを媒介してもらおう。ハロウィンなどは、子どもが町に関わる機会もある。

・道路拡張について、反対も賛成もあるが、どちらに対しても説明されていない。  
・道路が広がらない方がいいと考えている人の方が多いと思える。  
・今の 132 号線と昭和 21 年まで計画道路がもう 1 本あったが、避難道路だから幹線道路を繋ぐために 1 本になるはずなのに、途中で曲がったのはなぜか。田中区長には議会で決まったから仕方ないと言われた。何かの利害関係があったのかなと思う。避難道路なら仕方ないが、納得がいかないものが多い。

・高齢者などが気軽に話せる場所、子育てや高齢者問題もいいまちづくりのために重要。民間でやっていたものを、区が力を入れてやる。障がい者にも優しいまち。多様性とかダイバーシティと言ってはいるが、現実はどうだろうかということがよくある。  
・空き地を使って障がい者が小さなお店を作って近所の人が集えるようにする。  
・エリアマネジメントを目指す。

以上